

仏画教室 はじめての置き上げ彩色

「置き上げ彩色^{おきあさいしき}」は、古くから寺社の壁画や彫刻、工芸品などに用いられてきた伝統技法です。貝殻を原料とする「胡粉^{こふん}」を何層にも塗り重ねることで、立体的な装飾表現を生み出します。

この講座では、置き上げ彩色の技法を使いオリジナルのミニ色紙、小箱を作成します。
どうぞ気軽にご参加ください。

step1



step2



step3



日 時 ① 2月8日（日） ② 2月22日（日） ③ 3月15日（日）
いずれも午後1時～4時

場 所 猪名川町中央公民館 工作室（生涯学習センター内）

講 師 岡本 航さん（仏画師）

材料費 3,000円

対 象 先着12名 猪名川町内在住の方 ※3回連続で受講できる人

申込み 1月6日（火）から中央公民館窓口、電話（072-766-8432）にて受付

※手話通訳及び要約筆記が必要な方は1月16日（金）までに、
中央公民館（FAX 766-8345）にご相談ください。

【講師プロフィール】

1995年兵庫県川西市生まれ。小学校3年生のとき奈良を訪れ仏教美術と出会い、独学で仏画を描きはじめる。2007年、初の個展を開催。2009年、川西市岡本寺の襖絵を制作。2018年、京都造形芸術大学美術工芸学科日本画コースを卒業後、猪名川町上野の工房にて創作活動を開始。仏教絵画や日本画の制作、絵画教室なども行っている。